

調査書の訂正項目

訂 正 前			
【本編：P12】			
2-8 廃棄物運搬車両の搬入出計画			
収集運搬車両及び自家用車（ごみの持込）の台数については、平均的に1日当たり <u>225</u> 台が入場すると考えられる。			
【本編：P28】			
表3-2-4 周辺道路における自動車交通量			
交通量調査 単位区間番号	道路名	昼間12時間交通量 (全車上下計 台)	24時間交通量 (全車上下計 台)
10420	国道135号	10,941	14,333
<u>10590</u>	<u>国道136号</u>	<u>13,537</u>	<u>16,109</u>
11510	国道414号	8,725	9,961
60180	静岡県道117号 下田港線	3,088	3,860
60200	静岡県道119号 下田南伊豆線	2,306	2,836



訂 正 後			
【本編：P12】			
2-8 廃棄物運搬車両の搬入出計画			
収集運搬車両及び自家用車（ごみの持込）の台数については、平均的に1日当たり <u>270</u> 台が入場すると考えられる。			
【本編：P28】			
表3-2-4 周辺道路における自動車交通量			
交通量調査 単位区間番号	道路名	昼間12時間交通量 (全車上下計 台)	24時間交通量 (全車上下計 台)
10420	国道135号	10,941	14,333
<u>10585</u>	<u>国道136号</u>	<u>13,537</u>	<u>16,109</u>
<u>10590</u>	<u>国道136号</u>	<u>8,690</u>	<u>9,999</u>
11510	国道414号	8,725	9,961
60180	静岡県道117号下田 港線	3,088	3,860
60200	静岡県道119号下田 南伊豆線	2,306	2,836

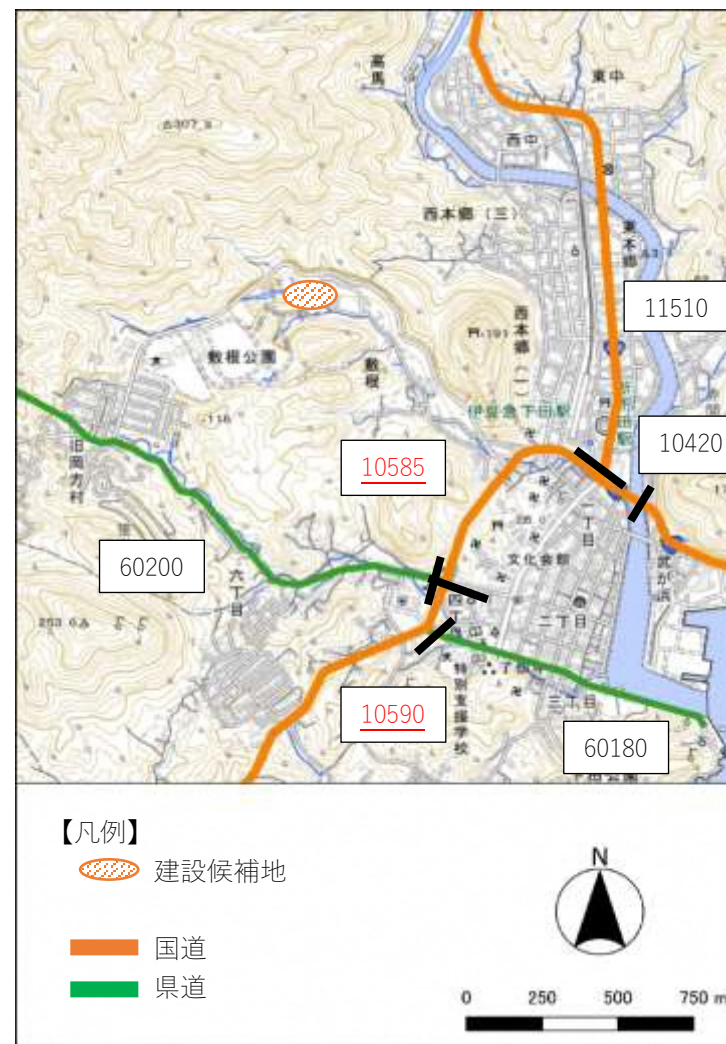
【本編：P29】

図 3-2-2 周辺の道路の状況及び交通量観測区間



【本編：P29】

図 3-2-2 周辺の道路の状況及び交通量観測区間



【本編：P30】

表 3-2-6 病院・有床診療所の所在地及び候補地からの距離

No.	種別	施設名称	所在地	候補地からの 方角・距離
1	病院	下田メディカルセンター	六丁目 4-10	南南東 1,100 m
2	有床 診療所	のぞみ記念 下田循環 器・腎臓クリニック	高馬 147-1	北北西 900 m
3		河井医院	二丁目 13-3	南東 1,200 m
4		臼井医院	二丁目 3-27	南東 1,300 m
5		小川クリニック	蓮台寺 180-14	北 1,500 m

【本編：P40】

表 3-3-8 自動車騒音の限度（要請限度）

備 考

個別の住居等において騒音の影響を受けやすい面の窓を主として閉めた生活が営まれていると認められるときは、屋内へ透過する騒音に係る基準（昼間にあつては 45 dB 以下、夜間にあつては 40 dB 以下）によることができる。

【下田市】

- a 区域：第 1 種低層住居専用地域、第 1 種中高層住居専用地域
- b 区域：第 1 種住居地域、第 2 種住居地域、準住居地域、都市計画区域内の用途地域の定めのない地域
- c 区域：近隣商業地域、商業地域、準工業地域、工業地域

【本編：P43】

表 3-3-10 特定工場等の振動に係る規制基準

注）病院等、学校、保育所、図書館及び特別養護老人ホームの敷地の周囲おおむね 50 メートルの区域内における規制基準は、規制基準の欄に掲げる値から 5 デシベルを減じた値とする。

出典）昭和 51 年 11 月 10 日 総理府令第 58 号、平成 9 年 3 月 28 日静岡県告示第 344 号の 8

【本編：P30】

表 3-2-6 病院・有床診療所の所在地及び候補地からの距離

No.	種別	施設名称	所在地	候補地からの 方角・距離
1	病院	下田メディカルセンター	六丁目 4-10	南南東 1,100 m
2	有床 診療所	のぞみ記念 下田循環 器・腎臓クリニック	高馬 147-1	北北東 900 m
3		河井医院	二丁目 13-3	南東 1,200 m
4		臼井医院	二丁目 3-27	南東 1,300 m
5		小川クリニック	蓮台寺 180-14	北 1,500 m

【本編：P40】

表 3-3-8 自動車騒音の限度（要請限度）

備 考

【下田市】

- a 区域：第 1 種低層住居専用地域、第 1 種中高層住居専用地域
- b 区域：第 1 種住居地域、第 2 種住居地域、準住居地域、都市計画区域内の用途地域の定めのない地域
- c 区域：近隣商業地域、商業地域、準工業地域、工業地域

【本編：P43】

表 3-3-10 特定工場等の振動に係る規制基準

注）病院等、学校、保育所、図書館、特別養護老人ホーム及び幼保連携型認定こども園の敷地の周囲おおむね 50 メートルの区域内における規制基準は、規制基準の欄に掲げる値から 5 デシベルを減じた値とする。

出典）昭和 51 年 11 月 10 日 環境庁告示第 90 号、平成 9 年 3 月 28 日静岡県告示第 344 号の 8

【本編：P51】

表 4-1-1 生活環境影響要因及び生活環境調査項目

調査事項		生活環境影響 要因 生活環境 影響調査項目	排ガスの 排出	施 設 排水の 排 出	施設の 稼 動	施設から の悪臭の 漏えい	廃棄物 運搬車両 の走行
大気 環境	大気 質	粉じん (降下ば いじん)	—	—	○	—	—

【本編：P64】

a) 冬季調査結果

風向については、高度 700m までは東北東からの風が卓越し、850m 以上の高度からは西南西からの風が多くなる傾向が見られた。

【本編：P69】

b) 夏季調査結果

また、9 時、12 時、15 時、18 時では、高度 700m～1,300m という高層で気温の逆転現象が確認できた。

【本編：P85】

ハ 弱風時（風速 1.0m/s 以下の場合）：弱風パフ式

【本編：P90】

表 5-1-27 排出源の諸元

項目		排出源の諸元
排出ガス量 (自主基準値)	ダイオキシン類	<u>0.01</u> ng-TEQ/m ³ N 以下

【本編：P51】

表 4-1-1 生活環境影響要因及び生活環境調査項目

調査事項		生活環境影響 要因 生活環境 影響調査項目	排ガスの 排出	施 設 排水の 排 出	施設の 稼 動	施設から の悪臭の 漏えい	廃棄物 運搬車両 の走行
大気 環境	大気 質	粉じん (降下ば いじん)	—	—	○※	—	—

【本編：P64】

a) 冬季調査結果

風向については、高度 700m までは東北東からの風が卓越し、850m 以上の高度からは南西～西南西の風が卓越する傾向が見られた。

【本編：P69】

b) 夏季調査結果

また、9 時、15 時、18 時では、高度 700m～1,300m という高層で気温の逆転現象が確認できた。

【本編：P85】

ハ 弱風時（風速 0.5～0.9m/s 以下の場合）：弱風パフ式

【本編：P90】

表 5-1-27 排出源の諸元

項目		排出源の諸元
排出ガス量 (自主基準値)	ダイオキシン類	<u>0.1</u> ng-TEQ/m ³ N 以下

【本編：P91】

表 5-1-28 大気安定度とべき指数

大気安定度	A	B	C	D	E	F, G
べき指数 (P)	0.10	0.15	0.20	0.25	0.25	0.30

資料)「窒素酸化物総量規制マニュアル(新版)」(平成 12 年 12 月、公害研究対策センター)

表 5-1-29 風速階級区分

区 分	無風時 (m/s)	弱風時 (m/s)	有風時 (m/s)					
風速範囲	0.4 以下	0.5 ～ 0.9	1.0 ～ 1.9	2.0 ～ 2.9	3.0 ～ 3.9	4.0 ～ 5.9	6.0 ～ 7.9	8.0 ～
代表風速	0.0	0.7	1.5	2.5	3.5	5.0	7.0	10.0

【本編：P94】

表 5-1-30 バックグラウンド濃度

予測地点	ダイオキシン類 (pg-TEQ/m ³)
EA-1	0.0057
EA-2	0.0051
EA-3	<u>0.0069</u>

【本編：P97】

C) 浮遊粒子状物質

煙突高が 50m の条件における二酸化窒素の予測結果を表 5-1-35 に、浮遊粒子状物質の寄与濃度の分布状況を図 5-1-18 に示す。

煙突高が 59m の条件における二酸化窒素の予測結果を表 5-1-36 に、浮遊粒子状物質の寄与濃度の分布状況を図 5-1-24 に示す。

【本編：P91】

表 5-1-28 風速階級区分

区 分	無風時 (m/s)	弱風時 (m/s)	有風時 (m/s)					
風速範囲	0.4 以下	0.5 ～ 0.9	1.0 ～ 1.9	2.0 ～ 2.9	3.0 ～ 3.9	4.0 ～ 5.9	6.0 ～ 7.9	8.0 ～
代表風速	0.0	0.7	1.5	2.5	3.5	5.0	7.0	10.0

表 5-1-29 大気安定度とべき指数

大気安定度	A	B	C	D	E	F, G
べき指数 (P)	0.10	0.15	0.20	0.25	0.25	0.30

資料)「窒素酸化物総量規制マニュアル(新版)」(平成 12 年 12 月、公害研究対策センター)

【本編：P94】

表 5-1-30 バックグラウンド濃度

予測地点	ダイオキシン類 (pg-TEQ/m ³)
EA-1	0.0057
EA-2	0.0051
EA-3	<u>0.0175</u>

【本編：P97】

C) 浮遊粒子状物質

煙突高が 50m の条件における浮遊粒子状物質の予測結果を表 5-1-35 に、浮遊粒子状物質の寄与濃度の分布状況を図 5-1-19 に示す。
煙突高が 59m の条件における浮遊粒子状物質の予測結果を表 5-1-36 に、浮遊粒子状物質の寄与濃度の分布状況を図 5-1-24 に示す。

【本編：P98】

煙突高が 50m の条件での最大着地濃度出現地点及び予測地点の排出ガス寄与濃度は、0.000047～0.0014 pg-TEQ/m³、将来予測濃度（年平均値）は、0.005147～0.0083 pg-TEQ/m³と予測された。

なお、最大着地濃度出現地点は、南西約 230mに出現した。

煙突高が 59m の条件では、最大着地濃度出現地点及び予測地点の排出ガス寄与濃度は、0.000041～0.0013 pg-TEQ/m³、将来予測濃度（年平均値）は、0.005141～0.0082 pg-TEQ/m³と予測された。

【本編：P98】

表 5-1-3 7 予測結果(ダイオキシン類:長期平均濃度 煙突高 50m)

予測地点	排出ガス 寄与濃度 ①	バックグラ ウンド濃度 ②	将来 予測濃度 ③=①+②	寄与率 (%) ①/③
EA-3	0.00045	<u>0.0069</u>	<u>0.00735</u>	<u>6.1</u>
最大着地濃度 出現地点	0.0014	<u>0.0069</u>	<u>0.0083</u>	<u>16.9</u>

表 5-1-3 8 予測結果(ダイオキシン類:長期平均濃度 煙突高 59m)

予測地点	排出ガス 寄与濃度 ①	バックグラ ウンド濃度 ②	将来 予測濃度 ③=①+②	寄与率 (%) ①/③
EA-3	0.00036	<u>0.0069</u>	<u>0.00726</u>	<u>5.0</u>
最大着地濃度 出現地点	0.0013	<u>0.0069</u>	<u>0.0082</u>	<u>15.9</u>

【本編：P98】

煙突高が 50m の条件での最大着地濃度出現地点及び予測地点の排出ガス寄与濃度は、0.000047～0.0014 pg-TEQ/m³、将来予測濃度（年平均値）は、0.005147～0.0189 pg-TEQ/m³と予測された。

なお、最大着地濃度出現地点は、南西約 230mに出現した。

煙突高が 59m の条件では、最大着地濃度出現地点及び予測地点の排出ガス寄与濃度は、0.000041～0.0013 pg-TEQ/m³、将来予測濃度（年平均値）は、0.005141～0.0188 pg-TEQ/m³と予測された。

【本編：P98】

表 5-1-3 7 予測結果(ダイオキシン類:長期平均濃度 煙突高 50m)

予測地点	排出ガス 寄与濃度 ①	バックグラ ウンド濃度 ②	将来 予測濃度 ③=①+②	寄与率 (%) ①/③
EA-3	0.00045	<u>0.0175</u>	<u>0.01795</u>	<u>2.5</u>
最大着地濃度 出現地点	0.0014	<u>0.0175</u>	<u>0.0189</u>	<u>7.4</u>

表 5-1-3 8 予測結果(ダイオキシン類:長期平均濃度 煙突高 59m)

予測地点	排出ガス 寄与濃度 ①	バックグラ ウンド濃度 ②	将来 予測濃度 ③=①+②	寄与率 (%) ①/③
EA-3	0.00036	<u>0.0175</u>	<u>0.01786</u>	<u>2.0</u>
最大着地濃度 出現地点	0.0013	<u>0.0175</u>	<u>0.0188</u>	<u>6.9</u>

【本編：P110】

ウ 予測方法 b) 予測手法

気象条件時（大気安定度不安定時）、ダウンウォッシュ発生時（煙突ダウンウォッシュ）、ダウンドラフト（建物ダウンウォッシュ）、上層逆転層形成時、接地逆転層崩壊時（フュミゲーション）における5つの気象条件について、拡散計算により将来予測濃度（1時間値）を求める方法とした。

【本編：P111】

図5-1-27 予測手順（煙突排ガスの排出：短期高濃度）

図中

気象条件の設定
 ・上層逆転層形成時
 ・接地逆転層崩壊時
 ・内部境界層による
フュミゲーション発生時

【本編：P113】

表5-1-41 バックグラウンド濃度

予測地点	二酸化硫黄 (ppm)	二酸化窒素 (ppm)	浮遊粒子状物質 (mg/m ³)	塩化水素 ^{注)} (ppm)
最大着地濃度 出現地点	0.004	<u>0.0021</u>	0.033	0.001

注) 塩化水素の現地調査結果は全地点ともに0.001 ppm未満であるが、バックグラウンド濃度は0.001 ppmとした。

【本編：P110】

ウ 予測方法 b) 予測手法

気象条件時（大気安定度不安定時）、ダウンウォッシュ発生時（煙突ダウンウォッシュ）、ダウンドラフト（建物ダウンウォッシュ）、上層逆転層形成時における4つの気象条件について、拡散計算により将来予測濃度（1時間値）を求める方法とした。

【本編：P111】

図5-1-27 予測手順（煙突排ガスの排出：短期高濃度）

図中

気象条件の設定
 ・上層逆転層形成時

【本編：P113】

表5-1-41 バックグラウンド濃度

予測地点	二酸化硫黄 (ppm)	二酸化窒素 (ppm)	浮遊粒子状物質 (mg/m ³)	塩化水素 ^{注)} (ppm)
最大着地濃度 出現地点	0.004	<u>0.021</u>	0.033	0.001

注) 塩化水素の現地調査結果は全地点ともに0.001 ppm未満であるが、バックグラウンド濃度は0.001 ppmとした。

【本編：P120】

表 5-1-4 2 予測結果（一般的な気象条件：短期高濃度）

予測項目	単位	排出ガス 寄与濃度 ①	バックグラウンド 濃度 ②	将 来 予測濃度 ③=①+②	気象条件
二酸化 窒素	ppm	0.0036	<u>0.0021</u>	<u>0.0057</u>	・地上風速：0.7 m/s ・大気安定度：A ・最大着地濃度出現地点 ：煙突から約 550m

表 5-1-4 3 予測結果（ダウンウォッシュ発生時：短期高濃度）

予測項目	単位	排出ガス 寄与濃度 ①	バックグラウンド 濃度 ②	将 来 予測濃度 ③=①+②	気象条件
二酸化 窒素	ppm	0.005	<u>0.0021</u>	<u>0.0071</u>	・地上風速：3.5 m/s ・大気安定度：B ・最大着地濃度出現地点 ：煙突から約 300m

【本編：P121】

表 5-1-4 4 予測結果（ダウンドラフト発生時：短期高濃度）

予測項目	単位	排出ガス 寄与濃度 ①	バックグラウンド 濃度 ②	将 来 予測濃度 ③=①+②	気象条件
二酸化 窒素	ppm	0.0042	<u>0.0021</u>	<u>0.0063</u>	・地上風速：0.7 m/s ・大気安定度：A ・最大着地濃度出現地点 ：煙突から約 580m

表 5-1-4 5 予測結果（上層逆転形成時：短期高濃度）

予測項目	単位	排出ガス 寄与濃度 ①	バックグラウンド 濃度 ②	将 来 予測濃度 ③=①+②	気象条件
二酸化 窒素	ppm	0.0108	<u>0.0021</u>	<u>0.0129</u>	・地上風速：静穏 ・大気安定度：A ・最大着地濃度出現地点 ：煙突から約 50m

【本編：P120】

表 5-1-4 2 予測結果（一般的な気象条件：短期高濃度）

予測項目	単位	排出ガス 寄与濃度 ①	バックグラウンド 濃度 ②	将 来 予測濃度 ③=①+②	気象条件
二酸化 窒素	ppm	0.0036	<u>0.021</u>	<u>0.0246</u>	・地上風速：0.7 m/s ・大気安定度：A ・最大着地濃度出現地点 ：煙突から約 550m

表 5-1-4 3 予測結果（ダウンウォッシュ発生時：短期高濃度）

予測項目	単位	排出ガス 寄与濃度 ①	バックグラウンド 濃度 ②	将 来 予測濃度 ③=①+②	気象条件
二酸化 窒素	ppm	0.005	<u>0.021</u>	<u>0.026</u>	・地上風速：3.5 m/s ・大気安定度：B ・最大着地濃度出現地点 ：煙突から約 300m

【本編：P121】

表 5-1-4 4 予測結果（ダウンドラフト発生時：短期高濃度）

予測項目	単位	排出ガス 寄与濃度 ①	バックグラウンド 濃度 ②	将 来 予測濃度 ③=①+②	気象条件
二酸化 窒素	ppm	0.0042	<u>0.021</u>	<u>0.0252</u>	・地上風速：0.7 m/s ・大気安定度：A ・最大着地濃度出現地点 ：煙突から約 580m

表 5-1-4 5 予測結果（上層逆転形成時：短期高濃度）

予測項目	単位	排出ガス 寄与濃度 ①	バックグラウンド 濃度 ②	将 来 予測濃度 ③=①+②	気象条件
二酸化 窒素	ppm	0.0108	<u>0.021</u>	<u>0.0318</u>	・地上風速：静穏 ・大気安定度：A ・最大着地濃度出現地点 ：煙突から約 50m

【本編：P126】

表 5-1-4 6 計画交通量

単位:台/h

時間	計画交通量			
	入庫方向		出庫方向	
	大型車	小型車	大型車	小型車
7:00～8:00		10		10
8:00～9:00	5	20	5	20
9:00～10:00	5	20	5	20
10:00～11:00	10	<u>25</u>	10	<u>25</u>
11:00～12:00	<u>10</u>	<u>25</u>	<u>10</u>	<u>25</u>
12:00～13:00				
13:00～14:00	<u>5</u>	<u>25</u>	<u>5</u>	<u>25</u>
14:00～15:00	5	<u>25</u>	5	<u>25</u>
15:00～16:00	5	20	5	20
16:00～17:00				
17:00～18:00		10		10
合計	<u>45</u>	<u>180</u>	<u>45</u>	<u>180</u>
備考 【規制速度】 40 km/h				

【本編：P126】

表 5-1-4 6 計画交通量

単位:台/h

時間	計画交通量			
	入庫方向		出庫方向	
	大型車	小型車	大型車	小型車
7:00～8:00		10		10
8:00～9:00	5	20	5	20
9:00～10:00	5	20	5	20
10:00～11:00	10	<u>30</u>	10	<u>30</u>
11:00～12:00	<u>15</u>	<u>35</u>	<u>15</u>	<u>35</u>
12:00～13:00				
13:00～14:00	<u>15</u>	<u>35</u>	<u>15</u>	<u>35</u>
14:00～15:00	5	<u>30</u>	5	<u>30</u>
15:00～16:00	5	20	5	20
16:00～17:00				
17:00～18:00		10		10
合計	<u>60</u>	<u>210</u>	<u>60</u>	<u>210</u>
備考 【規制速度】 40 km/h				

【本編：P129】

表 5-1-4 7 年平均値から日平均値（年間 98%値又は 2%除外値）への変換式

項 目	変換式
浮遊粒子状物質	$[\text{年間 2\%除外値}] = a \times ([\text{SPM}]_{\text{BG}} + [\text{SPM}]_{\text{R}}) + b$ $a = 1.71 + 0.37 \times \exp(-[\text{SPM}]_{\text{R}} / [\text{SPM}]_{\text{BG}})$ $b = 0.0063 + 0.0014 \times \exp(-[\text{SPM}]_{\text{R}} / [\text{SPM}]_{\text{BG}})$ $[\text{SPM}]_{\text{R}}$：浮遊粒子状物質の道路寄与濃度の年平均値$[\text{mg}/\text{m}^3]$ $[\text{SPM}]_{\text{BG}}$：浮遊粒子状物質のバックグラウンド濃度の年平均値$[\text{mg}/\text{m}^3]$

【本編：P131】

④予測結果 ア 二酸化窒素

廃棄物運搬車両の走行に伴う排出ガス寄与濃度は、0.0000323 ppm～0.0000435 ppm、将来予測濃度（日平均値の年間 98%値）は、0.015 ppmと予測された。

表 5-1-4 9 予測結果（二酸化窒素：長期平均濃度）

単位：ppm

予測地点		排出ガス寄与濃度 ①	バックグラウンド濃度 ②	将来予測濃度 ③=①+②	寄与率 (%) ①/③	将来予測濃度 日平均値の 年間 98%値
EA-2	入庫方向	<u>0.0000331</u>	0.005	<u>0.0050331</u>	<u>0.8</u>	0.015
	出庫方向	<u>0.0000323</u>	0.005	<u>0.0050323</u>	<u>0.8</u>	0.015
EA-3	入庫方向	<u>0.0000435</u>	0.005	<u>0.0050435</u>	<u>0.9</u>	<u>0.015</u>
	出庫方向	<u>0.0000401</u>	0.005	<u>0.0050401</u>	<u>0.9</u>	<u>0.015</u>

【本編：P129】

表 5-1-4 7 年平均値から日平均値（年間 98%値又は 2%除外値）への変換式

項 目	変換式
浮遊粒子状物質	$[\text{年間 2\%除外値}] = a \times ([\text{SPM}]_{\text{BG}} + [\text{SPM}]_{\text{R}}) + b$ $a = 1.71 + 0.37 \times \exp(-[\text{SPM}]_{\text{R}} / [\text{SPM}]_{\text{BG}})$ $b = 0.0063 + 0.0014 \times \exp(-[\text{SPM}]_{\text{R}} / [\text{SPM}]_{\text{BG}})$ $[\text{SPM}]_{\text{R}}$：浮遊粒子状物質の道路寄与濃度の年平均値$[\text{mg}/\text{m}^3]$ $[\text{SPM}]_{\text{BG}}$：浮遊粒子状物質のバックグラウンド濃度の年平均値$[\text{mg}/\text{m}^3]$

【本編：P131】

④予測結果 ア 二酸化窒素

廃棄物運搬車両の走行に伴う排出ガス寄与濃度は、0.0000429 ppm～0.0000566 ppm、将来予測濃度（日平均値の年間 98%値）は、0.015～0.016ppmと予測された。

表 5-1-4 9 予測結果（二酸化窒素：長期平均濃度）

単位：ppm

予測地点		排出ガス寄与濃度 ①	バックグラウンド濃度 ②	将来予測濃度 ③=①+②	寄与率 (%) ①/③	将来予測濃度 日平均値の 年間 98%値
EA-2	入庫方向	<u>0.0000431</u>	0.005	<u>0.0050431</u>	<u>0.9</u>	0.015
	出庫方向	<u>0.0000429</u>	0.005	<u>0.0050429</u>	<u>0.9</u>	0.015
EA-3	入庫方向	<u>0.0000566</u>	0.005	<u>0.0050566</u>	<u>1.1</u>	<u>0.016</u>
	出庫方向	<u>0.0000532</u>	0.005	<u>0.0050532</u>	<u>1.1</u>	<u>0.016</u>

【本編：P131】

イ 浮遊粒子状物質

廃棄物運搬車両の走行に伴う排出ガス寄与濃度は、0.0000020 mg/m³～0.0000026 mg/m³、将来予測濃度（日平均値の年間2%除外値）は、0.023 mg/m³～0.024 mg/m³と予測された。

表5-1-50 予測結果（浮遊粒子状物質：長期平均濃度）

単位：mg/m³

予測地点		排出ガス 寄与濃度 ①	バックグラウンド 濃度 ②	将来 予測濃度 ③=①+②	寄与率 (%) ①/③	将来予測濃度 日平均値の 年間2%除外値
EA-2	入庫 方向	<u>0.0000021</u>	0.011	<u>0.0110021</u>	0.0	0.024
	出庫 方向	<u>0.0000020</u>	0.011	<u>0.0110020</u>	0.0	0.024
EA-3	入庫 方向	<u>0.0000026</u>	0.010	<u>0.0100026</u>	0.0	0.023
	出庫 方向	<u>0.0000024</u>	0.010	<u>0.0100024</u>	0.0	0.023

【本編：P131】

イ 浮遊粒子状物質

廃棄物運搬車両の走行に伴う排出ガス寄与濃度は、0.0000026 mg/m³～0.0000032 mg/m³、将来予測濃度（日平均値の年間2%除外値）は、0.023 mg/m³～0.024 mg/m³と予測された。

表5-1-50 予測結果（浮遊粒子状物質：長期平均濃度）

単位：mg/m³

予測地点		排出ガス 寄与濃度 ①	バックグラウンド 濃度 ②	将来 予測濃度 ③=①+②	寄与率 (%) ①/③	将来予測濃度 日平均値の 年間2%除外値
EA-2	入庫 方向	<u>0.0000026</u>	0.011	<u>0.0110026</u>	0.0	0.024
	出庫 方向	<u>0.0000026</u>	0.011	<u>0.0110026</u>	0.0	0.024
EA-3	入庫 方向	<u>0.0000032</u>	0.010	<u>0.0100032</u>	0.0	0.023
	出庫 方向	<u>0.0000031</u>	0.010	<u>0.0100031</u>	0.0	0.023

【本編：P133】

長期平均濃度については、二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質は環境基準の年間にわたる日平均値を、塩化水素は「大気汚染防止法に基づく窒素酸化物の排出基準の改定等について」（昭和 52 年環大規第 136 号）における目標環境濃度を、水銀は「今後の有害大気汚染物質対策のあり方について（第七次答申）」における指針値の年平均値を、ダイオキシン類は環境基準の年平均値をそれぞれ環境保全目標とした。

短期高濃度については、二酸化硫黄、浮遊粒子状物質は環境基準の 1 時間値を、環境基準の 1 時間値が定められていない二酸化窒素は、「二酸化窒素の人の健康影響に係る判定条件等について（答申）」（昭和 53 年 3 月 22 日 中公審第 163 号 中央公害対策審議会）における短期暴露の指針値を、塩化水素は前述の目標環境濃度を、水銀及びダイオキシン類は指針値又は環境基準の年平均値を 1 時間値として、それぞれ環境保全目標とした。

【本編：P136】

表 5-1-5 8 影響の分析結果（長期平均濃度：ダイオキシン類）

項目	予測地点	将来予測濃度	環境保全目標	
			目標値	適否 (○：適、 ×：否)
ダイオキシン類	EA-3	<u>0.00735</u>	0.6 以下	○
	最大着地濃度出現地点	<u>0.0083</u>		○

【本編：P133】

長期平均濃度については、二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質は環境基準の年間にわたる日平均値を、水銀は「今後の有害大気汚染物質対策のあり方について（第七次答申）」における指針値の年平均値を、ダイオキシン類は環境基準の年平均値をそれぞれ環境保全目標とした。

短期高濃度については、二酸化硫黄、浮遊粒子状物質は環境基準の 1 時間値を、環境基準の 1 時間値が定められていない二酸化窒素は、「二酸化窒素の人の健康影響に係る判定条件等について（答申）」（昭和 53 年 3 月 22 日 中公審第 163 号 中央公害対策審議会）における短期暴露の指針値を、塩化水素は「大気汚染防止法に基づく窒素酸化物の排出基準の改定等について」（昭和 52 年環大規第 136 号）における目標環境濃度をそれぞれ環境保全目標とした。

【本編：P136】

表 5-1-5 8 影響の分析結果（長期平均濃度：ダイオキシン類）

項目	予測地点	将来予測濃度	環境保全目標	
			目標値	適否 (○：適、 ×：否)
ダイオキシン類	EA-3	<u>0.01795</u>	0.6 以下	○
	最大着地濃度出現地点	<u>0.0189</u>		○

【本編：P137】

表 5-1-6 0 影響の分析結果（短期高濃度）

項目	予測地点	将来予測濃度	環境保全目標	
			目標値	適否 (○：適, ×：否)
一般的な気象条件	二酸化窒素 (ppm)	<u>0.0057</u>	0.1 以下	○
ダウンウオッシュ発生時	二酸化窒素 (ppm)	<u>0.0071</u>	0.1 以下	○
ダウンドラフト発生時	二酸化窒素 (ppm)	<u>0.0063</u>	0.1 以下	○
上層逆転層発生時	二酸化窒素 (ppm)	<u>0.0129</u>	0.1 以下	○

【本編：P139】

表 5-1-6 2 影響の分析結果（長期平均濃度：二酸化窒素）

単位：ppm

項目	予測地点		将来予測濃度	環境保全目標	
				目標値	適否 (○：適, ×：否)
二酸化窒素	EA-2	入庫方向	0.015	0.06 以下	○
		出庫方向	0.015		○
	EA-3	入庫方向	<u>0.015</u>		○
		出庫方向	<u>0.015</u>		○

【本編：P137】

表 5-1-6 0 影響の分析結果（短期高濃度）

項目	予測地点	将来予測濃度	環境保全目標	
			目標値	適否 (○：適, ×：否)
一般的な気象条件	二酸化窒素 (ppm)	<u>0.0246</u>	0.1 以下	○
ダウンウオッシュ発生時	二酸化窒素 (ppm)	<u>0.026</u>	0.1 以下	○
ダウンドラフト発生時	二酸化窒素 (ppm)	<u>0.0252</u>	0.1 以下	○
上層逆転層発生時	二酸化窒素 (ppm)	<u>0.0318</u>	0.1 以下	○

【本編：P139】

表 5-1-6 2 影響の分析結果（長期平均濃度：二酸化窒素）

単位：ppm

項目	予測地点		将来予測濃度	環境保全目標	
				目標値	適否 (○：適, ×：否)
二酸化窒素	EA-2	入庫方向	0.015	0.06 以下	○
		出庫方向	0.015		○
	EA-3	入庫方向	<u>0.016</u>		○
		出庫方向	<u>0.016</u>		○

【本編：P143】

表 5-2-6 (1) 騒音調査結果（環境騒音 冬季）

備考）朝 6:00～8:00 昼間 8:00～20:00 夕 20:00～22:00 夜間 22:00～6:00

【本編：P144】

表 5-2-6 (2) 騒音調査結果（環境騒音 夏季）

備考）朝 6:00～8:00 昼間 8:00～20:00 夕 20:00～22:00 夜間 22:00～6:00

【本編：P146】

ウ 予測条件 a)騒音発生源の条件

稼働時間は、焼却施設は 24 時間稼働、資源化施設は昼間のみ稼働とした。

【本編：P153】

資源化施設が稼働しない時間区分での最大値は 43dB であった。

表 5-2-1 2 施設の稼働に伴う騒音の予測結果

予測地点	時間区分	将来予測騒音レベル (寄与騒音レベル)	備考
敷地境界 最大騒音レベル 地点	朝	43	規制値 ・朝 6-8 時 ・昼間 8- <u>20 時</u> ・夕 <u>20</u> -22 時 ・夜間 22-6 時 ・評価値：L _{A5}
	昼間	47	
	夕	43	
	夜間	43	

【本編：P143】

表 5-2-6 (1) 騒音調査結果（環境騒音 冬季）

備考）朝 6:00～8:00 昼間 8:00～18:00 夕 18:00～22:00 夜間 22:00～6:00

【本編：P144】

表 5-2-6 (2) 騒音調査結果（環境騒音 夏季）

備考）朝 6:00～8:00 昼間 8:00～18:00 夕 18:00～22:00 夜間 22:00～6:00

【本編：P146】

ウ 予測条件 a)騒音発生源の条件

稼働時間は、粗大ごみ破砕機を除く焼却施設は 24 時間稼働、粗大ごみ破砕機及び資源化施設は昼間のみ稼働とした。

【本編：P153】

粗大ごみ破砕機及び資源化施設が稼働しない時間区分での最大値は 43dB であった。

表 5-2-1 2 施設の稼働に伴う騒音の予測結果

予測地点	時間区分	将来予測騒音レベル (寄与騒音レベル)	備考
敷地境界 最大騒音レベル 地点	朝	43	規制値 ・朝 6-8 時 ・昼間 8- <u>18 時</u> ・夕 <u>18</u> -22 時 ・夜間 22-6 時 ・評価値：L _{A5}
	昼間	47	
	夕	43	
	夜間	43	

【本編：P155】

図5-2-6 寄与騒音レベルの分布状況(資源化施設が休止)



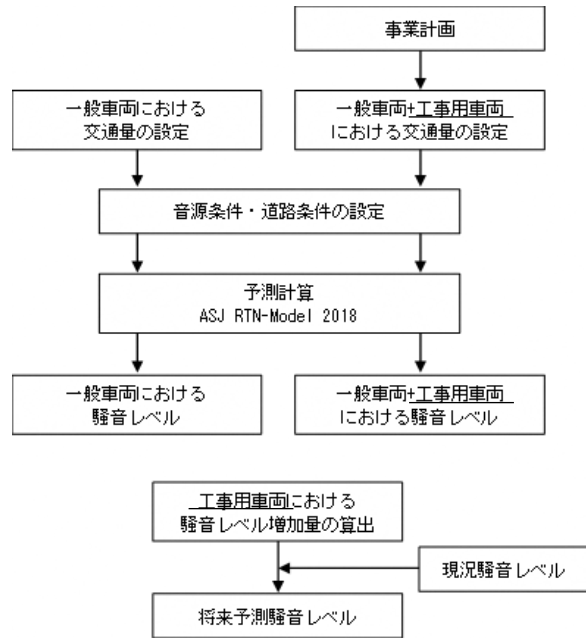
【本編：P155】

図5-2-6 寄与騒音レベルの分布状況(粗大ごみ破碎機及び資源化施設が休止)



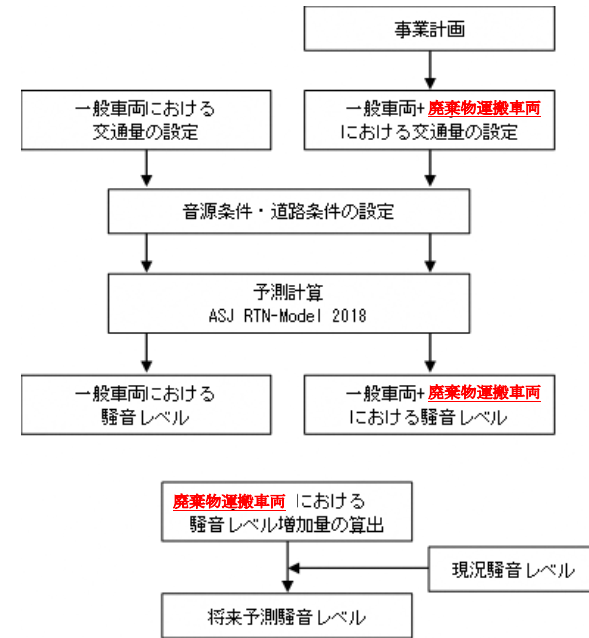
【本編：P156】

図 5-2-7 予測手順（廃棄物運搬車両の走行に伴う騒音）



【本編：P156】

図 5-2-7 予測手順（廃棄物運搬車両の走行に伴う騒音）



【本編：P158】

表 5-2-1 3 将来交通量 (RSV-1)

	現況				計画車両				合計交通量			
	北方向(入場)		南方向(出場)		北方向(入場)		南方向(出場)		北方向(入場)		南方向(出場)	
	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車
0:00 ～ 1:00	8	1	4	2					8	1	4	2
1:00 ～ 2:00	7	0	8	0					7	0	8	0
2:00 ～ 3:00	5	0	5	1					5	0	5	1
3:00 ～ 4:00	3	0	10	0					3	0	10	0
4:00 ～ 5:00	4	0	9	0					4	0	9	0
5:00 ～ 6:00	19	1	30	1					19	1	30	1
6:00 ～ 7:00	34	1	104	1					34	1	104	1
7:00 ～ 8:00	200	9	220	12	10		10		210	9	230	12
8:00 ～ 9:00	199	19	259	11	20	5	20	5	219	24	279	16
9:00 ～ 10:00	186	11	240	14	20	5	20	5	206	16	260	19
10:00 ～ 11:00	176	15	157	4	<u>25</u>	10	<u>25</u>	10	<u>201</u>	25	<u>182</u>	14
11:00 ～ 12:00	190	25	163	23	<u>25</u>	<u>10</u>	<u>25</u>	<u>10</u>	<u>215</u>	<u>35</u>	<u>188</u>	<u>33</u>
12:00 ～ 13:00	157	12	164	13					157	12	164	13
13:00 ～ 14:00	208	17	161	14	<u>25</u>	<u>5</u>	<u>25</u>	<u>5</u>	<u>233</u>	<u>22</u>	<u>186</u>	<u>19</u>
14:00 ～ 15:00	190	17	189	19	<u>25</u>	5	<u>25</u>	5	<u>215</u>	22	<u>214</u>	24
15:00 ～ 16:00	183	21	169	16	20	5	20	5	203	26	189	21
16:00 ～ 17:00	212	10	184	14					212	10	184	14
17:00 ～ 18:00	268	7	248	5	10		10		278	7	258	5
18:00 ～ 19:00	200	1	147	2					200	1	147	2
19:00 ～ 20:00	140	1	74	0					140	1	74	0
20:00 ～ 21:00	71	0	49	0					71	0	49	0
21:00 ～ 22:00	56	1	56	2					56	1	56	2
22:00 ～ 23:00	32	2	13	1					32	2	13	1
23:00 ～ 0:00	26	1	3	1					26	1	3	1
合計	2,774	172	2,666	156	<u>180</u>	<u>45</u>	<u>180</u>	<u>45</u>	<u>2,954</u>	<u>217</u>	<u>2,846</u>	<u>201</u>

【本編：P158】

表 5-2-1 3 将来交通量 (RSV-1)

	現況				計画車両				合計交通量			
	北方向(入場)		南方向(出場)		北方向(入場)		南方向(出場)		北方向(入場)		南方向(出場)	
	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車
0:00 ～ 1:00	8	1	4	2					8	1	4	2
1:00 ～ 2:00	7	0	8	0					7	0	8	0
2:00 ～ 3:00	5	0	5	1					5	0	5	1
3:00 ～ 4:00	3	0	10	0					3	0	10	0
4:00 ～ 5:00	4	0	9	0					4	0	9	0
5:00 ～ 6:00	19	1	30	1					19	1	30	1
6:00 ～ 7:00	34	1	104	1					34	1	104	1
7:00 ～ 8:00	200	9	220	12	10		10		210	9	230	12
8:00 ～ 9:00	199	19	259	11	20	5	20	5	219	24	279	16
9:00 ～ 10:00	186	11	240	14	20	5	20	5	206	16	260	19
10:00 ～ 11:00	176	15	157	4	<u>30</u>	10	<u>30</u>	10	<u>206</u>	25	<u>187</u>	14
11:00 ～ 12:00	190	25	163	23	<u>35</u>	<u>15</u>	<u>35</u>	<u>15</u>	<u>225</u>	<u>40</u>	<u>198</u>	<u>38</u>
12:00 ～ 13:00	157	12	164	13					157	12	164	13
13:00 ～ 14:00	208	17	161	14	<u>35</u>	<u>15</u>	<u>35</u>	<u>15</u>	<u>243</u>	<u>32</u>	<u>196</u>	<u>29</u>
14:00 ～ 15:00	190	17	189	19	<u>30</u>	5	<u>30</u>	5	<u>220</u>	22	<u>219</u>	24
15:00 ～ 16:00	183	21	169	16	20	5	20	5	203	26	189	21
16:00 ～ 17:00	212	10	184	14					212	10	184	14
17:00 ～ 18:00	268	7	248	5	10		10		278	7	258	5
18:00 ～ 19:00	200	1	147	2					200	1	147	2
19:00 ～ 20:00	140	1	74	0					140	1	74	0
20:00 ～ 21:00	71	0	49	0					71	0	49	0
21:00 ～ 22:00	56	1	56	2					56	1	56	2
22:00 ～ 23:00	32	2	13	1					32	2	13	1
23:00 ～ 0:00	26	1	3	1					26	1	3	1
合計	2,774	172	2,666	156	<u>210</u>	<u>60</u>	<u>210</u>	<u>60</u>	<u>2,984</u>	<u>232</u>	<u>2,876</u>	<u>216</u>

【本編：P159】

表 5-2-1 4 将来交通量 (RSV-2)

	現況				計画車両				合計交通量			
	北方向(入場)		南方向(出場)		北方向(入場)		南方向(出場)		北方向(入場)		南方向(出場)	
	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車
0:00 ～ 1:00	3	0	11	0					3	0	11	0
1:00 ～ 2:00	0	0	6	0					0	0	6	0
2:00 ～ 3:00	4	0	3	0					4	0	3	0
3:00 ～ 4:00	4	0	5	0					4	0	5	0
4:00 ～ 5:00	8	0	4	1					8	0	4	1
5:00 ～ 6:00	15	0	3	2					15	0	3	2
6:00 ～ 7:00	93	3	27	1					93	3	27	1
7:00 ～ 8:00	255	9	152	3	10		10		265	9	162	3
8:00 ～ 9:00	260	10	165	8	20	5	20	5	280	15	185	13
9:00 ～ 10:00	191	10	139	12	20	5	20	5	211	15	159	17
10:00 ～ 11:00	184	14	140	17	<u>25</u>	10	<u>25</u>	10	<u>209</u>	24	<u>165</u>	27
11:00 ～ 12:00	116	8	114	7	<u>25</u>	<u>10</u>	<u>25</u>	<u>10</u>	<u>141</u>	<u>18</u>	<u>139</u>	<u>17</u>
12:00 ～ 13:00	131	6	136	4					131	6	136	4
13:00 ～ 14:00	137	5	116	3	<u>25</u>	<u>5</u>	<u>25</u>	<u>5</u>	<u>162</u>	<u>10</u>	<u>141</u>	<u>8</u>
14:00 ～ 15:00	130	6	151	8	<u>25</u>	5	<u>25</u>	5	<u>155</u>	11	<u>176</u>	13
15:00 ～ 16:00	149	6	140	8	20	5	20	5	169	11	160	13
16:00 ～ 17:00	139	21	198	10					139	21	198	10
17:00 ～ 18:00	176	1	230	2	10		10		186	1	240	2
18:00 ～ 19:00	120	0	173	1					120	0	173	1
19:00 ～ 20:00	61	1	94	4					61	1	94	4
20:00 ～ 21:00	31	0	79	0					31	0	79	0
21:00 ～ 22:00	20	0	60	0					20	0	60	0
22:00 ～ 23:00	9	0	21	0					9	0	21	0
23:00 ～ 0:00	5	0	16	0					5	0	16	0
合計	2,241	100	2,183	91	<u>180</u>	<u>45</u>	<u>180</u>	<u>45</u>	<u>2,421</u>	<u>145</u>	<u>2,363</u>	<u>136</u>

【本編：P159】

表 5-2-1 4 将来交通量 (RSV-2)

	現況				計画車両				合計交通量			
	北方向(入場)		南方向(出場)		北方向(入場)		南方向(出場)		北方向(入場)		南方向(出場)	
	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車
0:00 ～ 1:00	3	0	11	0					3	0	11	0
1:00 ～ 2:00	0	0	6	0					0	0	6	0
2:00 ～ 3:00	4	0	3	0					4	0	3	0
3:00 ～ 4:00	4	0	5	0					4	0	5	0
4:00 ～ 5:00	8	0	4	1					8	0	4	1
5:00 ～ 6:00	15	0	3	2					15	0	3	2
6:00 ～ 7:00	93	3	27	1					93	3	27	1
7:00 ～ 8:00	255	9	152	3	10		10		265	9	162	3
8:00 ～ 9:00	260	10	165	8	20	5	20	5	280	15	185	13
9:00 ～ 10:00	191	10	139	12	20	5	20	5	211	15	159	17
10:00 ～ 11:00	184	14	140	17	<u>30</u>	10	<u>30</u>	10	<u>214</u>	24	<u>170</u>	27
11:00 ～ 12:00	116	8	114	7	<u>35</u>	<u>15</u>	<u>35</u>	<u>15</u>	<u>151</u>	<u>23</u>	<u>149</u>	<u>22</u>
12:00 ～ 13:00	131	6	136	4					131	6	136	4
13:00 ～ 14:00	137	5	116	3	<u>35</u>	<u>15</u>	<u>35</u>	<u>15</u>	<u>172</u>	<u>20</u>	<u>151</u>	<u>18</u>
14:00 ～ 15:00	130	6	151	8	<u>30</u>	5	<u>30</u>	5	<u>160</u>	11	<u>181</u>	13
15:00 ～ 16:00	149	6	140	8	20	5	20	5	169	11	160	13
16:00 ～ 17:00	139	21	198	10					139	21	198	10
17:00 ～ 18:00	176	1	230	2	10		10		186	1	240	2
18:00 ～ 19:00	120	0	173	1					120	0	173	1
19:00 ～ 20:00	61	1	94	4					61	1	94	4
20:00 ～ 21:00	31	0	79	0					31	0	79	0
21:00 ～ 22:00	20	0	60	0					20	0	60	0
22:00 ～ 23:00	9	0	21	0					9	0	21	0
23:00 ～ 0:00	5	0	16	0					5	0	16	0
合計	2,241	100	2,183	91	<u>210</u>	<u>60</u>	<u>210</u>	<u>60</u>	<u>2,451</u>	<u>160</u>	<u>2,393</u>	<u>151</u>

【本編：P161】

将来予測騒音レベルは、現況からそれぞれ 1dB 増加すると予測された。

表 5-2-1 6 廃棄物運搬車両の走行に伴う騒音の予測結果

単位: dB

予測地点		現況 騒音レベル ①	増加量 ②	将来予測 騒音レベル ③	備考
RSV-1	入庫方向	63	0.5	64	環境基準 ・昼間 6-22 時 ・評価値: L _{Aeq}
	出庫方向	63	0.5	64	
RSV-2	入庫方向	62	0.6	<u>63</u>	
	出庫方向	62	0.7	<u>63</u>	

【本編：P163】

表 5-2-1 7 環境保全目標（施設の稼働に伴う騒音）

単位: dB

予測地点	時間区分	環境保全目標	備考
建設候補地 敷地境界	朝 (6 時～8 時)	50 以下	規制基準
	昼間 (8 時～ <u>20 時</u>)	55 以下	
	夕 (<u>20 時</u> ～22 時)	50 以下	
	夜間 (22 時～6 時)	45 以下	

【本編：P161】

将来予測騒音レベルは、RSV-1 では現況から 1dB、RSV-2 では現況から 2dB 増加すると予測された。

表 5-2-1 6 廃棄物運搬車両の走行に伴う騒音の予測結果

単位: dB

予測地点		現況 騒音レベル ①	増加量 ②	将来予測 騒音レベル ③	備考
RSV-1	入庫方向	63	<u>1.0</u>	64	環境基準 ・昼間 6-22 時 ・評価値: L _{Aeq}
	出庫方向	63	<u>1.4</u>	64	
RSV-2	入庫方向	62	<u>1.9</u>	<u>64</u>	
	出庫方向	62	<u>1.8</u>	<u>64</u>	

【本編：P163】

表 5-2-1 7 環境保全目標（施設の稼働に伴う騒音）

単位: dB

予測地点	時間区分	環境保全目標	備考
建設候補地 敷地境界	朝 (6 時～8 時)	50 以下	規制基準
	昼間 (8 時～ <u>18 時</u>)	55 以下	
	夕 (<u>18 時</u> ～22 時)	50 以下	
	夜間 (22 時～6 時)	45 以下	

【本編：P164】

表 5-2-1 9 影響の分析結果（施設の稼働に伴う騒音）

単位：dB

予測地点	時間区分	将来予測 騒音レベル	環境保全目標	
			目標値	適否 (○:適 ×:否)
敷地境界 最大騒音 レベル地点	朝 (6 時～8 時)	43	50 以下	○
	昼間 (8 時～ <u>20 時</u>)	47	55 以下	○
	夕 (<u>20 時</u> ～22 時)	43	50 以下	○
	夜間 (22 時～6 時)	43	45 以下	○

②廃棄物運搬車両の走行に伴う騒音

影響の分析結果を表 5-2-2 0 に示す。

予測の結果、SRV-1 は 64dB、SRV-2 は 63dB であり、いずれも目標値の 65dB を下回った。

表 5-2-2 0 影響の分析結果（廃棄物運搬車両の走行に伴う騒音）

単位：dB

予測地点	時間区分	将来予測 騒音レベル	環境保全目標	環境保全目標
			目標値	適否 (○:適 ×:否)
RSV-1	昼間 (6 時～22 時)	64	65 以下	○
RSV-2	昼間 (6 時～22 時)	<u>63</u>	65 以下	○

【本編：P164】

表 5-2-1 9 影響の分析結果（施設の稼働に伴う騒音）

単位：dB

予測地点	時間区分	将来予測 騒音レベル	環境保全目標	
			目標値	適否 (○:適 ×:否)
敷地境界 最大騒音 レベル地点	朝 (6 時～8 時)	43	50 以下	○
	昼間 (8 時～ <u>18 時</u>)	47	55 以下	○
	夕 (<u>18 時</u> ～22 時)	43	50 以下	○
	夜間 (22 時～6 時)	43	45 以下	○

②廃棄物運搬車両の走行に伴う騒音

影響の分析結果を表 5-2-2 0 に示す。

予測の結果、RSV-1、RSV-2 ともに将来予測騒音レベルは 64dB であり、いずれも目標値の 65 dB を下回った。

表 5-2-2 0 影響の分析結果（廃棄物運搬車両の走行に伴う騒音）

単位：dB

予測地点	時間区分	将来予測 騒音レベル	環境保全目標	環境保全目標
			目標値	適否 (○:適 ×:否)
RSV-1	昼間 (6 時～22 時)	64	65 以下	○
RSV-2	昼間 (6 時～22 時)	<u>64</u>	65 以下	○

【本編：P166】

④ 調査時期

調査時期は、表 5-3-3 (1) 及び(2)に示すとおりであり、騒音と同時期に実施した。

調査期間は、2 季とし、_____平日、休日の 2 回、各 24 時間連続とした。

【本編：P167】

表 5-3-4 (1) 調査結果（環境振動 冬季）

調査地点	時間区分	振動レベル (L ₁₀ dB)		
		平日	休日	規制基準
ESV-1	昼間	30 未満	30 未満	65
	夜間	30 未満	30 未満	<u>60</u>

表 5-3-4 (2) 調査結果（環境振動 夏季）

調査地点	時間区分	振動レベル (L ₁₀ dB)		
		平日	休日	規制基準
ESV-1	昼間	30 未満	30 未満	65
	夜間	30 未満	30 未満	<u>60</u>

【本編：P166】

④ 調査時期

調査時期は、表 5-3-3 (1) 及び(2)に示すとおりであり、騒音と同時期に実施した。

調査期間は、2 季とし、環境振動は平日、休日の 2 回、道路交通振動は平日に 1 回、それぞれ 24 時間連続とした。

【本編：P167】

表 5-3-4 (1) 調査結果（環境振動 冬季）

調査地点	時間区分	振動レベル (L ₁₀ dB)		
		平日	休日	規制基準
ESV-1	昼間	30 未満	30 未満	65
	夜間	30 未満	30 未満	<u>55</u>

表 5-3-4 (2) 調査結果（環境振動 夏季）

調査地点	時間区分	振動レベル (L ₁₀ dB)		
		平日	休日	規制基準
ESV-1	昼間	30 未満	30 未満	65
	夜間	30 未満	30 未満	<u>55</u>

【本編：P170】

振動発生源の配置は、「5-2 騒音、(3) 予測、1) 施設の稼働に伴う騒音、③ 予測方法、ウ 予測条件、a) 騒音発生源の条件 (p146)」と同様とし、地盤面に振動を伝える可能性がある階層に配置する設備機器のみを対象とした。

表 5-3-6 主要な振動発生源の振動レベル (焼却施設)

設備機器	図No.	台数	騒音レベル (dB)
			機側 1m
誘引送風機	①	2	60
粗大ごみ破碎機	②	1	75
押込送風機	③	2	65
白煙防止送風機	④	2	60

表 5-3-7 主要な振動発生源の振動レベル (資源化施設)

設備機器	図No.	台数	騒音レベル (dB)
			機側 1m
高速回転破碎機	①	1	60
缶プレス機	②	1	65
プラ・PET 圧縮梱包機	③	1	55

【本編：P170】

振動発生源の配置は、「5-2 騒音、(3) 予測、1) 施設の稼働に伴う騒音、③ 予測方法、ウ 予測条件、a) 騒音発生源の条件 (p146)」と同様とし、地盤面に振動を伝える可能性がある階層に配置する設備機器のみを対象とした。

また、粗大ごみ破碎機を除く焼却施設は 24 時間稼働、粗大ごみ破碎機及び資源化施設は昼間のみ稼働とした。

表 5-3-6 主要な振動発生源の振動レベル (焼却施設)

設備機器	図No.	台数	振動レベル (dB)
			機側 1m
誘引送風機	①	2	60
粗大ごみ破碎機	②	1	75
押込送風機	③	2	65
白煙防止送風機	④	2	60

表 5-3-7 主要な振動発生源の振動レベル (資源化施設)

設備機器	図No.	台数	振動レベル (dB)
			機側 1m
高速回転破碎機	①	1	60
缶プレス機	②	1	65
プラ・PET 圧縮梱包機	③	1	55

【本編：P171】

将来予測振動レベルは、敷地境界最大振動レベル地点で 57.6 dB であった。

表 5-3-8 施設の稼働に伴う振動の予測結果

単位：dB

予測地点	時間区分	将来予測振動レベル (寄与振動レベル)	備考
敷地境界 最大振動レベル地点	昼間	<u>57.6</u>	規制値 ・昼間 8-20 時 ・夜間 20-8 時 ・評価値：L ₁₀
	夜間	<u>57.6</u>	

【本編：P171】

将来予測振動レベルは、全ての施設が稼働する昼間の時間区分において、敷地境界の最大で 58 dB であった。

粗大ごみ破碎機及び資源化施設が稼働しない夜間の時間区分での最大値は 49dB であった。

表 5-3-8 施設の稼働に伴う振動の予測結果

単位：dB

予測地点	時間区分	将来予測振動レベル (寄与振動レベル)	備考
敷地境界 最大振動レベル地点	昼間	<u>58</u>	規制値 ・昼間 8-20 時 ・夜間 20-8 時 ・評価値：L ₁₀
	夜間	<u>49</u>	

【本編：P173】

図 5-3-3 寄与振動レベルの分布状況（資源化施設が休止）



【本編：P173】

図 5-3-3 寄与振動レベルの分布状況（粗大ごみ破砕機及び資源化施設が休止）



【本編：P176】

d) 現況振動レベル

現況振動レベルは、既存施設への搬入車両による影響を含まない休日における現地調査結果より、表 5-3-9 に示すとおり設定した。

表 5-3-10 廃棄物運搬車両の走行に伴う振動の予測結果

単位：dB

予測地点		現況 振動レベル ①	増加量 ②	将来予測 振動レベル ③	備考
RSV-1	入庫方向	16.8	<u>0.7</u>	<u>30 未満(17.5)</u>	規制基準 ・昼間 8-20 時 ・評価値: L ₁₀
	出庫方向	16.8	<u>0.7</u>	<u>30 未満(17.5)</u>	
RSV-2	入庫方向	19.7	<u>1.2</u>	<u>30 未満(20.9)</u>	
	出庫方向	19.7	<u>1.2</u>	<u>30 未満(20.9)</u>	

【本編：P178】

表 5-3-11 環境保全目標（施設の稼働に伴う振動）

単位：dB

予測地点	時間区分	環境保全目標	備考
建設候補地 敷地境界	昼間	65	規制値 ・昼間 8-20 時 ・夜間 20-8 時 ・評価値: L ₁₀
	夜間	<u>60</u>	

【本編：P176】

d) 現況振動レベル

現況振動レベルは、道路交通振動の現地調査結果のうち、より振動レベルが大きくなった冬季調査より、表 5-3-9 に示すとおり設定した。

表 5-3-10 廃棄物運搬車両の走行に伴う振動の予測結果

単位：dB

予測地点		現況 振動レベル ①	増加量 ②	将来予測 振動レベル ③	備考
RSV-1	入庫方向	16.8	<u>0.8</u>	<u>30 未満(17.6)</u>	規制基準 ・昼間 8-20 時 ・評価値: L ₁₀
	出庫方向	16.8	<u>0.9</u>	<u>30 未満(17.7)</u>	
RSV-2	入庫方向	19.7	<u>1.5</u>	<u>30 未満(21.2)</u>	
	出庫方向	19.7	<u>1.5</u>	<u>30 未満(21.2)</u>	

【本編：P178】

表 5-3-11 環境保全目標（施設の稼働に伴う振動）

単位：dB

予測地点	時間区分	環境保全目標	備考
建設候補地 敷地境界	昼間	65	規制値 ・昼間 8-20 時 ・夜間 20-8 時 ・評価値: L ₁₀
	夜間	<u>55</u>	

【本編：P179】

表 5-3-1 3 影響の分析結果（施設の稼働に伴う振動）

単位：dB

予測地点	時間区分	将来予測 振動レベル	環境保全目標	
			目標値	適否 (○:適 ×:否)
敷地境界	昼間	58	65 以下	○
最大振動レベル地点	夜間	<u>58</u>	<u>60</u> 以下	○

【本編：P190】

イ 施設からの悪臭の漏えい

建設候補地において悪臭防止法に基づく規制基準は指定されていないが、法規制値から設定した規制基準（臭気指数 15 以下）と設定し、環境保全目標とした。

① 施設の稼働に伴う煙突排ガス

予測の結果、最大着地濃度出現地点における将来予測濃度は、臭気濃度が 0.05、臭気指数が 10 未満と予測され、環境保全目標は達成されるものと分析した。

【本編：P194】

表 5-5-4 調査結果（水質汚濁に係る環境基準項目）

項 目	単位	秋季	冬季	春季	夏季	環境基準
カドミウム	mg/L	<u><0.003</u>	<u><0.003</u>	<u><0.003</u>	<u><0.003</u>	0.003 以下
六価クロム	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<u>0.05 以下</u>
砒素	mg/ <u>kg</u>	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01 以下

【本編：P179】

表 5-3-1 3 影響の分析結果（施設の稼働に伴う振動）

単位：dB

予測地点	時間区分	将来予測 振動レベル	環境保全目標	
			目標値	適否 (○:適 ×:否)
敷地境界	昼間	58	65 以下	○
最大振動レベル地点	夜間	<u>49</u>	<u>55</u> 以下	○

【本編：P190】

イ 施設からの悪臭の漏えい

建設候補地に適用される悪臭防止法に基づく規制基準（臭気指数 15 以下）を環境保全目標とした。

① 施設の稼働に伴う煙突排ガス

予測の結果、最大着地濃度出現地点における将来予測濃度は、臭気濃度が 0.26、臭気指数が 10 未満と予測され、環境保全目標は達成されるものと分析した。

【本編：P194】

表 5-5-4 調査結果（水質汚濁に係る環境基準項目）

項 目	単位	秋季	冬季	春季	夏季	環境基準
カドミウム	mg/L	<u><0.0003</u>	<u><0.0003</u>	<u><0.0003</u>	<u><0.0003</u>	0.003 以下
六価クロム	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<u>0.02 以下</u>
砒素	mg/ <u>L</u>	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01 以下

【本編：P199】

表 5-6-5 調査結果（土壌汚染に係る環境基準項目）

単位：mg/L

調査項目	SP-1	SP-2	SP-3	環境基準
カドミウム	〈0.0003	〈0.0003	〈0.0003	<u>0.01</u>
トリクロロエチレン	〈0.001	〈0.001	〈0.001	<u>0.03</u>

【本編：P201】

ウ 予測結果

この事を踏まえた上で予測結果を見ると、ばいじん及びダイオキシン類について、影響が最大となる地点においても、地上での汚染物質濃度に対する寄与は小さく、いずれも現況の濃度を著しく悪化させるものではないと予測された。

【本編：P199】

表 5-6-5 調査結果（土壌汚染に係る環境基準項目）

単位：mg/L

調査項目	SP-1	SP-2	SP-3	環境基準
カドミウム	〈0.0003	〈0.0003	〈0.0003	<u>0.003</u>
トリクロロエチレン	〈0.001	〈0.001	〈0.001	<u>0.01</u>

【本編：P201】

ウ 予測結果

この事を踏まえた上で予測結果を見ると、浮遊粒子状物質及びダイオキシン類について、影響が最大となる地点においても、地上での汚染物質濃度に対する寄与は小さく、いずれも現況の濃度を著しく悪化させるものではないと予測された。

【本編：P201】

表 5-6-7 予測結果（ダイオキシン類：長期平均濃度）

単位：pg-TEQ/m³

予測地点	排出ガス 寄与濃度 ①	バックグラ ウンド濃度 ②	将来 予測濃度 ③=①+②	寄与率 (%) ①/③
最大着地濃度 出現地点	0.0014	0.0069	0.0083	16.9

表 5-6-8 予測結果（浮遊粒子状物質：長期平均濃度）

単位：mg/m³

予測地点	排出ガス 寄与濃度 ①	バックグラ ウンド濃度 ②	将来 予測濃度 ③=①+②	寄与率 (%) ①/③
最大着地濃度 出現地点	0.00014	0.01	0.01014	1.4

【本編：P203】

表 6-1-1 (1) 現況調査結果一覧

区分	調査項目	調査結果	基準値等 ○：適合、×：不適合
大気質	既存資料調査 最寄りの大気汚染 常時監視測定局 (過去5年間：平成 29～令和3)	微小粒子状 物質 ・下田市役所 年平均値：8.0～11.1 μg/m ³ 日平均値の年間98値 ：19.1～26.8 μg/m ³	○
	現地調査 環境大気質 (秋季・冬季・ 春季・夏季)	二酸化硫黄 (SO ₂) ・建設候補地の周辺地域(4季) 1時間値の最高値：0.001～ 0.04 ppm 日平均値の最高値：0.001～ 0.003 ppm	○

【本編：P201】

表 5-6-7 予測結果（ダイオキシン類：長期平均濃度）

単位：pg-TEQ/m³

予測地点	排出ガス 寄与濃度 ①	バックグラ ウンド濃度 ②	将来 予測濃度 ③=①+②	寄与率 (%) ①/③
最大着地濃度 出現地点	0.0014	0.0175	0.0189	7.4

表 5-6-8 予測結果（浮遊粒子状物質：長期平均濃度）

単位：mg/m³

予測地点	排出ガス 寄与濃度 ①	バックグラ ウンド濃度 ②	将来 予測濃度 ③=①+②	寄与率 (%) ①/③
最大着地濃度 出現地点	0.00014	0.011	0.01114	1.3

【本編：P203】

表 6-1-1 (1) 現況調査結果一覧

区分	調査項目	調査結果	基準値等 ○：適合、×：不適合
大気質	既存資料調査 最寄りの大気汚染 常時監視測定局 (過去5年間：平成 29～令和3)	微小粒子状 物質 ・下田市役所 年平均値：8.0～11.1 μg/m ³ 日平均値の年間98%値 ：19.1～26.8 μg/m ³	○
	現地調査 環境大気質 (秋季・冬季・ 春季・夏季)	二酸化硫黄 (SO ₂) ・建設候補地の周辺地域(4季) 1時間値の最高値：0.001～ 0.004 ppm 日平均値の最高値：0.001～ 0.003 ppm	○

【本編：P205】

表 6-1-1 (3) 現況調査結果一覧

区分		調査項目		調査結果	基準値等 ○:適合、×:不適合	
騒音	現地調査	道路交通騒音	騒音レベル (L_{Aeq})	・RSV-2・平日 (<u>L_{Aeq}</u>) 昼間: 62.0dB、夜間:50.7dB ・RSV-2・休日 (<u>L_{Aeq}</u>) 昼間: 62.2dB、夜間:51.3dB	○	環境基準 昼間: 65dB 以下 夜間: 65dB 以下
				・冬・平日 昼間:30 未満、夜間:30 未満 ・冬・休日 昼間:30 未満、夜間:30 未満 ・夏・平日 昼間:30 未満、夜間:30 未満 ・夏・休日 昼間:30 未満、夜間:30 未満	○	規制基準 昼間: 65dB 以下 夜間: 50dB 以下
振動	現地調査	環境振動	振動レベル (L_{10})	・RSV-1・冬季・平日 (<u>L_{10}</u>) 昼間: 30dB 未満、夜間:30dB 未満 ・RSV-1・夏季・休日 (<u>L_{10}</u>) 昼間: 30dB 未満、夜間:30dB 未満	○	環境基準 昼間: 65dB 以下 夜間: 60dB 以下
				・RSV-1・冬季・平日 (<u>L_{10}</u>) 昼間: 30dB 未満、夜間:30dB 未満 ・RSV-1・夏季・休日 (<u>L_{10}</u>) 昼間: 30dB 未満、夜間:30dB 未満	○	環境基準 昼間: 65dB 以下 夜間: 60dB 以下

【本編：P205】

表 6-1-1 (3) 現況調査結果一覧

区分		調査項目		調査結果	基準値等 ○:適合、×:不適合	
騒音	現地調査	道路交通騒音	騒音レベル (L_{Aeq})	・RSV-2・ 冬季 ・平日 昼間: 62.0dB、夜間:50.7dB ・RSV-2・ 夏季 ・平日 昼間: 62.2dB、夜間:51.3dB	○	環境基準 昼間: 65dB 以下 夜間: 60dB 以下
				・冬・平日 昼間:30 未満、夜間:30 未満 ・冬・休日 昼間:30 未満、夜間:30 未満 ・夏・平日 昼間:30 未満、夜間:30 未満 ・夏・休日 昼間:30 未満、夜間:30 未満	○	規制基準 昼間: 65dB 以下 夜間: 55dB 以下
振動	現地調査	環境振動	振動レベル (L_{10})	・RSV-1・冬季・平日 昼間: 30dB 未満、夜間:30dB 未満 ・RSV-1・夏季・ 平日 昼間: 30dB 未満、夜間:30dB 未満	○	環境基準 昼間: 65dB 以下 夜間: 60dB 以下
				・RSV-2・ 冬季 ・平日 昼間: 30dB 未満、夜間:30dB 未満 ・RSV-2・ 夏季 ・平日 昼間: 30dB 未満、夜間:30dB 未満	○	環境基準 昼間: 65dB 以下 夜間: 60dB 以下

【本編：P207】

表 6-1-2 (1) 予測及び影響の分析結果一覧

項目		予測地点	予測項目	予測結果	環境保全目標 ○:適合、×:不適合	
大 気 質	煙突排ガスの 排出	対象事業実 施区域及び その周辺	ガスイオン類 (DXNs)	0.005147~ 0.00735 pg- TEQ/m³ (年平均値)	0.6 pg-TEQ/m³ 以下	○
	長期平均濃度 (煙突高さ:50m)	最大着地濃 度出現地点	ガスイオン類 (DXNs)	0.0083 pg-TEQ/m³ (年平均 値)	0.6 pg-TEQ/m³ 以下	○
	煙突排ガスの 排出	一般的な 気象条件	二酸化窒素 (NO ₂)	0.0057ppm (1 時間値)	0.1 ppm 以下	○
		ダウンウォッ シュ発生時	二酸化窒素 (NO ₂)	0.0071ppm (1 時間値)	0.1 ppm 以下	○
		ダウンドラ フト発生時	二酸化窒素 (NO ₂)	0.0063ppm (1 時間値)	0.1 ppm 以下	○
		上層逆転層 発生時	二酸化窒素 (NO ₂)	0.0129ppm (1 時間値)	0.1 ppm 以下	○
	施設の稼働による 粉じん	建設予定地 周辺	粉じん (降下ばいじん)	3.86 t/km²/30 日	10 以下	○
	廃棄物運搬 車両の走行	走行ルート 沿道	二酸化窒素 (NO ₂)	0.015 ppm (1 時間値)	0.06 ppm 以下	○

【本編：P208】

表 6-1-2 (2) 予測及び影響の分析結果一覧

項目		予測地点	予測項目	予測結果	環境保全目標 ○:適合、×:不適合	
騒 音	施設の稼働に 伴う騒音	敷地境界	騒音レベル (L _{A5}) 朝: 6-8 時 昼間: 8-20 時 夕: 20-22 時 夜間: 22-6 時	敷地境界の最大騒音 レベル地点 朝: 43 dB 昼間: 47 dB 夕: 43 dB 夜間: 43 dB	朝: 50 dB 以下 昼間: 55 dB 以下 夕: 50 dB 以下 夜間: 45 dB 以下	○
	廃棄物等運搬 車両の走行	走行ルート 沿道	騒音レベル (L _{Aeq}) 昼間: 6-22 時	走行ルート沿道 将来予測騒音レベル (昼間) RSV-1: 64 dB RSV-2: 63 dB	RSV-1: 65 dB 以下 RSV-2: 65 dB 以下	○
振 動	施設の稼働	敷地境界	振動レベル (L ₁₀) 昼間: 8-20 時 夜間: 20-8 時	敷地境界の最大振動 レベル地点 昼間: 58 dB 夜間: 58 dB	昼間: 65 dB 以下 夜間: 60 dB 以下	○

【本編：P207】

表 6-1-2 (1) 予測及び影響の分析結果一覧

項目		予測地点	予測項目	予測結果	環境保全目標 ○:適合、×:不適合	
大 気 質	煙突排ガスの 排出	対象事業実 施区域及び その周辺	ガスイオン類 (DXNs)	0.005147~ 0.01795 pg- TEQ/m³ (年平均値)	0.6 pg-TEQ/m³ 以下	○
	長期平均濃度 (煙突高さ:50m)	最大着地濃 度出現地点	ガスイオン類 (DXNs)	0.0189 pg-TEQ/m³ (年 平均値)	0.6 pg-TEQ/m³ 以下	○
	煙突排ガスの 排出	一般的な 気象条件	二酸化窒素 (NO ₂)	0.0246ppm (1 時間値)	0.1 ppm 以下	○
		ダウンウォッ シュ発生時	二酸化窒素 (NO ₂)	0.0260ppm (1 時間値)	0.1 ppm 以下	○
		ダウンドラ フト発生時	二酸化窒素 (NO ₂)	0.0252ppm (1 時間値)	0.1 ppm 以下	○
		上層逆転層 発生時	二酸化窒素 (NO ₂)	0.0318ppm (1 時間値)	0.1 ppm 以下	○
	施設の稼働による 粉じん	建設候補地 周辺	粉じん (降下ばいじん)	3.86 t/km²/30 日	10 以下	○
	廃棄物運搬 車両の走行	走行ルート 沿道	二酸化窒素 (NO ₂)	0.015~ 0.016 ppm (1 時間値)	0.06 ppm 以下	○

【本編：P208】

表 6-1-2 (2) 予測及び影響の分析結果一覧

項目		予測地点	予測項目	予測結果	環境保全目標 ○:適合、×:不適合	
騒 音	施設の稼働に 伴う騒音	敷地境界	騒音レベル (L _{A5}) 朝: 6-8 時 昼間: 8-18 時 夕: 18 -22 時 夜間: 22-6 時	敷地境界の最大騒音 レベル地点 朝: 43 dB 昼間: 47 dB 夕: 43 dB 夜間: 43 dB	朝: 50 dB 以下 昼間: 55 dB 以下 夕: 50 dB 以下 夜間: 45 dB 以下	○
	廃棄物運搬 車両の走行	走行ルート 沿道	騒音レベル (L _{Aeq}) 昼間: 6-22 時	走行ルート沿道 将来予測騒音レベル (昼間) RSV-1: 64 dB RSV-2: 64 dB	RSV-1: 65 dB 以下 RSV-2: 65 dB 以下	○
振 動	施設の稼働	敷地境界	振動レベル (L ₁₀) 昼間: 8-20 時 夜間: 20-8 時	敷地境界の最大振動 レベル地点 昼間: 58 dB 夜間: 49 dB	昼間: 65 dB 以下 夜間: 55 dB 以下	○

